

2023年度事業計画

自 2023年5月 1日

至 2024年4月30日

2023年3月8日

公益財団法人 小柳財団

2023年度事業計画

1. はじめに

本財団は、生命科学の健全な発展に寄与し、技術革新と人間重視の両面からよりよい社会環境の実現に貢献したいと願っています。

生命科学の研究を発展させることで、「人間の健康と美」に貢献することを目的としています。

昨今、日本の経済・社会・文化の持続的な発展のために、研究開発の重要性が再認識されています。

本事業では、既成の概念にとらわれず広い視野と新たな発想を持って、未来を見据えた潜在的な課題に取り組む研究活動を支援いたします。

本年度も引き続き新型コロナウイルス感染症対策を十分に取っながら活動してまいります。

2. 2023年度方針

(1) 公益目的事業について

本財団の事業収入は、基本財産として保有する株式の配当収入に依存するところが大きく、2023年度も昨年と同様の配当が見込まれます。

この配当収入を本財団の目的である生命科学に関する分野で、「人間の健康と美」に関連する研究活動の支援に活用します。本年度は生命科学分野、農林水産分野、食品分野、生物学分野の研究活動で、「人間の健康と美」に関連する研究活動に助成します。

(2) 募集について

①本財団のホームページにて公募の実施をします。

②助成財団を支援する公益財団のWEBサイト及び無料のリソースサイトを積極的に活用します。

(3) 研究成果の刊行

前期に助成した研究者の研究成果を取りまとめて、研究業績集を製作します。

また、本財団のWEBサイトを活用し、研究助成の活動内容を知ってもらうために研究業績集の掲載を行います。

(4) 主な活動内容

- (1) 2024年度研究助成金の募集の実施(2023年5月1日～7月30日・8月1日必着)
- (2) 2024年度研究助成金の応募案件の採択と選考結果の通知の実施(2023年9月下旬に承認予定)
- (3) 2024年度研究助成金の交付の実施
- (4) 助成金交付先より研究成果報告書回収(研究期間:2023年4月～2024年3月)
- (5) 研究助成業績報告集の製作(研究期間:2022年4月～2023年3月)
- (6) 研究助成金の実績公開(2024年4月末日)
- (7) 選考委員名簿の公開(2024年4月末日)
- (8) 財団のパンフレットの製作

3. 事業計画

- (1) 2022年度の財団活動情報の公開(本財団HPの情報公開のページ)
 - ①研究助成金募集活動(募集要項、申請書類等)
 - ②研究助成金交付実績(研究者氏名と研究テーマ、助成金額)
 - ③2022年度決算報告書類
 - ④事業報告
 - ⑤研究業績集(研究期間:2021年4月～2022年3月)
 - ⑥2023年度の事業計画と収支予算
- (2) 研究助成金募集(研究期間:2024年4月～2025年3月)の実施
 - ① 研究助成金の募集に関連する資料のデータ化と本財団HPへの掲載
※募集要項、申請書類、申請書類記入要項
 - ② 本財団HPにて研究助成金の募集開始(2023年5月1日より)
 - ③ 公益財団法人助成財団センター(JFC)のWEBサイトの活用
 - ④ 無料のリリースサイトの活用
- (3) 研究助成金応募案件の採択及び理事会承認
 - ① 研究助成金の応募案件の採択作業
選考委員全員による応募案件について、本年度の研究助成金の募集要項の条件に照らして採点(5点方式)をします。採点した結果を事務局でまとめ、応募案件採点表を作成し、選考委員に配布し、その後開催される選考委員会において、審査・協議を行い、助成金の交付内定先となる40件程度の採択候補を決定します。
但し平均点3点前後のボーダーラインとなる応募案件は、選考委員全員で応募書類の内容について、再審査と協議を行い、本年度の募集要項の条件と定款の事業目的に、適合しているか判断し、採択を決定します。
 - ② 上記①で採択された応募案件の承認(2023年9月下旬に承認予定)
選考委員会にて採択した応募案件に対して、理事会にて承認し交付内定先を決定します。
 - (a) 助成の件数は40件程度。
 - (b) 助成金交付額 1件当たり最大で100万円
但し、特に優秀な研究の場合200万円を交付する場合があります。
 - ③ 選考結果通知と第2次提出書類の送付
 - (a) 応募のあった研究者全員に選考結果の通知を送付します。(採択と不採択の通知)
 - (b) 内定先には第2次提出書類を送付します。(送付書類は下記のとおり)
 - a. 選考結果の通知(採択・不採択)
 - b. オーバーヘッド(間接経費)の取り扱いのお願い
 - c. 誓約書
 - d. 助成金振込口座申請書※第2次提出書類はcとdで、cの書類の受理をもって内定から確定となります。
 - ④ 研究助成金の交付実施(確定した助成先に交付。)
2024年2月下旬から2024年3月上旬までに交付します。

- ⑤ 研究助成金の交付通知の送付(送付書類は下記のとおり)
 - a. 研究助成金交付通知
 - b. 研究助成金受領書
- (4) 前期の助成金交付先より第4次提出書類の回収(研究期間:2023年4月～2024年3月)
 - ・助成金交付先に第4次提出書類の送付とお知らせメール配信
 - ①研究成果報告書(研究期間:2023年4月～2024年3月)
 - ②助成金使用支出明細書(研究期間:2023年4月～2024年3月)
 - ※上記の①と②は2024年4月30日必着
 - ③研究業績の利用承諾書
 - ④ 研究成果報告書と助成金使用支出明細書の内容確認
 - ※研究成果報告書の内容と助成金使用支出明細書の内容を確認し、不備があれば再提出の依頼を行います。
- (5)研究業績集の発行

研究助成金(研究期間:2022年4月～2023年3月)の交付先に対して、研究成果報告書等の利用について、承諾書を送付し、承諾を頂いた研究者の研究業績を刊行物として発刊します。承諾をして頂いた研究者全員に刊行物を送付します。また、本財団のホームページの情報公開ページに研究業績集を公開します。費用の内訳は下記の通り。

研究年度	冊数	金額
2022年度	100冊	35万円

- (6)(公益)小柳財団の財団案内の製作
 - 小柳財団の事業目的を広くPRするために、財団案内を製作し知名度アップを目指します。

4. 事業資金について

2023年度も所有株式の配当が予定しており、基本財産運用益の受取配当金として、5,336万円を予算計上しています。

5. 資金調達及び設備投資について

本事業年度においては、資金調達及び設備投資の計画はありません。